

名城大学農学部学術報告執筆要項

1. 原稿はMS wordで作成するものとし、A4縦長の用紙の片面に印書する。文字の大きさは11ポイントで、ページにつき40字×25行=1000字詰めで印字する。この際、原稿の上下左右に2cm程度の余白をとる。原稿中の句読点等には、
「., : ; ・」を用い、和文の場合は全角、英文の場合は半角文字を用い、アラビア数字はいずれも半角とする。

2. 原稿の項目は以下の順に表記し、用紙の中央下に通しページ番号をつける。

(ア) 和文原稿

- 1) 表紙ページ [和文表題, 著者名, 著者所属, 筆頭著者または責任著者連絡先メール住所, 要約 (650 字以内), キーワード (5 語程度), 英文表題, 英文著者名, 所属, 筆頭著者または責任著者連絡先メール住所, Abstract (230 語以内), Key words (5 語程度)]
- 2) 本文 [原則として緒言, 材料および方法, 結果, 考察, (謝辞), 引用文献の順]

(イ) 英文原稿

- 1) 表紙ページ [英文表題, 英文著者名, 所属, 筆頭著者または責任著者連絡先メール住所, Abstract (230 語以内), Key words (5 語程度), 和文表題, 和文著者名, 著者所属, 筆頭著者または責任著者連絡先メール住所, 要約 (650 字以内), キーワード (5 語程度),]
- 2) 本文 [原則として Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, (Acknowledgements), References の順] ただし、本文中の章の編成については各専門分野の学会誌の慣例に従うこともできる。短報の本文は文献のみを別項目とする。総説と資料等は形式を問わない。

すべての数式には、末尾に---(1), ---(2)のような両括弧アラビア数字の通し番号をつける。略語や数量表現については、原則としてIUPACの勧告に従うものとするが、各専門分野の学会誌の慣例に従うこともできる。投稿原稿の字体(太字, 斜体, 上下付)等の書式はワードプロセッサで変更するものとし、下線を用いた指定は行わない。特殊文字を使用する場合は、原稿中の該当箇所にその旨を記入する。

3. 図, 表および記号について以下に示す。

- 1) 本文中の該当箇所に図と表の掲載位置を明記する。図と表の番号は、和文表記の場合にはそれぞれ図1, 表1のように示し、英文表記の場合にはそれぞれFig.1, Table1のように示す。
- 2) 図は縮小されて印刷製版されるので、印字サイズ, 線の太さに注意する。写真を掲載する場合はコントラストを強くする。
- 3) 図と表は、1ページに1図表だけ配置する。ただし、図の説明文は別紙にまとめて記入し、表の説明文は表の上部に記入する。
- 4) 記号, 用語, 単位については主としてIUPACの勧告に従うものとする。ただし、各専門分野の学会誌の慣例に従うこともできる。

4. 引用文献

引用文献は以下の1)、2)に従って記述することを原則とする。ただし、各専門分野の学会誌の慣例に従うこともできる。

- 1) 引用文献は、その様式が英文の場合は(Suzuki et al., 2004)のように、和文の場合は(船隈ら, 004)のように姓, 発表年の順に示す。同じ表記を必要とする著者が同一年に複数存在する場合は発表年の後に小文字のアルファベットを付けて区別する。引用文献は本文文末の文献欄に収録し、その順序は形式の和英を問わず、第一著者の姓のアルファベット順に収録する。

名城大学農学部学術報告以外の日本語の学術雑誌等についてはその名称を略さずに表記し、英語の学術雑誌等については規則に従った略称で表記する。

- 2) 引用文献の記載様式は以下の例に従うものとする。

船隈透・菅沼礼子・伊藤健太・田中信彦・古田昌之・近藤歩・原彰 (2004a) D-マンノースによるクロマツ花粉の花粉管伸長阻害. 名城大農学報, 40 : 31-36.

Inagaki, K., Q. Guo and M. Arakawa (2004a) Overwintering of rice sclerotial disease fungi, *Rhizoctonia* and *Sclerotium* spp., in paddy elds in Japan. *Plant Pathol. J.* 3 : 81-87.

郭慶元・小笠原崇文・荒川征夫・稲垣公治 (2003) 水田におけるイネ紋枯病菌個体群構造の年次推移. 日本植物病理学会報, 69 : 212-219.

Suzuki, S. and T. Takano (2004) Changes in photosynthetic carbon dioxide and oxygen exchange, transpiration, and stomatal resistance in the rejuvenated primary leaves by the removal of foliage leaves in snap bean plants. Sci. Rep. Fac. Agr., Meijo Univ. 40 : 27-30.

5. 本執筆要項に記されていない内容については、最新の「名城大学農学部学術報告」を参考にして原稿を作成する。

6. 投稿方法

- 1) MS Wordで作成した原稿の電子ファイルとそれをPDF化したファイルおよび「名城大学農学部学術報告」原稿送り状を電子メールまたは、電子媒体として送付する。PDFが利用できない場合は、PDF化したファイルの代わりに印刷したオリジナルコピー1部を送付する。
- 2) 大きな画像や写真等がある場合は原稿送り状の「8.その他の連絡特記事項」にその旨を明記の上、電子メールもしくは、CD-ROM等の電子媒体または紙媒体で送付する。
- 3) 送付先は当該年度の名城大学農学部学術報告編集委員長とする。
- 4) 「名城大学農学部学術報告」原稿送り状のテンプレートは <http://www-agr.meijo-u.ac.jp/report/index.html> からダウンロードすることができます。